

令和5年度

一般廃棄物処理実施計画

大島地区衛生組合

大島地区衛生組合

一般廃棄物処理実施計画

1. 目的

大島地区衛生組合は、奄美大島における奄美市・大和村・龍郷町・宇検村・瀬戸内町で構成する一部事務組合である。

その目的とは、一般廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。また、再資源化を促進し廃棄物の減量に努めることにある。また、一般廃棄物の有料化に関する事務も行う。

なお、汚泥再生処理に関する事務については大和村と宇検村及び瀬戸内町を除く。

2. 計画の期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間とする。

3. 処理処分計画

3-1. 名瀬クリーンセンターと最終処分場

可燃・不燃・粗大ごみ・汚泥は、焼却・資源回収の中間処理を行う。この時、工場周辺的环境保全に努める。処理残渣は、無害化して最終処分場へ送る。工場の生活排水と最終処分場浸出水は、無害化して再利用し周辺環境の保全を図る。(無放流)

電池類(充電池含む)は分別収集後、再生利用可能な状態の物は指定法人へ引渡し、それ以外は埋め立て処理を行う。

3-2. 奄美市ストックヤード

容器包装廃棄物の中のびん類は、検査再分別し一定量保管後、再商品化を指定法人に委託する。ペットボトルは検査梱包し業者に売却する。

3-3. 有良汚泥再生処理センター

し尿汚泥及び浄化槽汚泥は、沈殿凝集の後、魚のアラを混ぜて堆肥化する。

4. 対象廃棄物

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定義する一般廃棄物と容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に定義する容器包装廃棄物。

5. 施設名称・所在地・処理能力

5-1. 施設名称：名瀬クリーンセンター

(中間処理及び最終処分場)

所在地：奄美市名瀬大字有屋字井野 1594-1

処理能力：①ごみ(焼却)処理施設

流動床式焼却炉 50 t / 16 h × 2 炉

②下水道汚泥受入れ施設 10 t / 16 h × 2 炉

※但し①と②は混焼で②は①に含まれる

③粗大ごみ(破碎)処理施設

回転式破碎機 20 t / 5 h × 1 基

④浸出水処理施設

接触ばっき処理方式 115 m³ / 日

⑤最終処分場(管理型最終処分場)

○サンドイッチ埋立方式 146,000 m³

○浸出水は、焼却施設併設の浸出水処理施設に送り再利用(無放流)

5-2 施設名称：奄美市ストックヤード

所在地：奄美市名瀬大字有屋字井野 1594-1

(※奄美市より施設借り受け管理)

処理能力：4種分別保管(各10t)

5-3 施設名称：有良汚泥再生処理センター

所在地：奄美市名瀬大字有良字松川 800 番地

処理能力：40KI/日※浄化槽汚泥の混入比率の高い脱窒素処理方式+高度処理

6. 維持管理運営(体制)計画

名瀬クリーンセンターの運転業務と最終処分場の埋立業務については民間業者に委託する。施設全体の維持管理業務については直営で行う。

資源ごみ再商品化施設の作業については、障がい者雇用促進法の観点から障がい者支援施設の団体に委託する。

し尿処理施設に関する業務は直営で行う。

ゴミ袋の製作及び小売販売は、民間委託で行い卸業者への販売及び在庫管理は直営で行う。

7. 環境保全

廃棄物の中間処理工程中又は最終処分後においては、大気汚染・水質汚濁等二次公害を引き起こさぬよう法律の定める基準を遵守する。

8. 処理コスト削減

処理コストの削減に努める。

9. 施設の延命化

次期施設建設まで施設の延命化のため、基金を積み立て計画的に大規模整備をする。

10. 基本計画の策定

構成市町村の基本計画に基づき、将来を見通した廃棄物処理計画を策定するように努める。

11.令和5年度の廃棄物搬入量の予想

11-(1)銘柄別の予測

11-(1)-1. 名瀬クリーンセンター

単位 トン

	令和5年度予想量
可燃ごみ	18,734
不燃ごみ	792
粗大ごみ	2,659
下水道汚泥	625
し尿汚泥	167
場内汚泥	6
合計	22,983

11-(1)-2. 奄美市ストックヤード

単位 トン

ペットボトル	80
無色びん	64
茶びん	60
その他のびん	41
合計	245

11-(1)-3. 廃棄物の搬入総量の予想

単位 トン

総合計	23,228
-----	--------

11-(1)-4 汚泥再生施設

単位 キロリットル

	令和5年度予想量
し尿及び浄化槽汚泥	15,456

11-(2)市町村別の予想

11-(2)-2一般廃棄物搬入量

単位 トン

市町村別	銘柄別	令和5年度予想量
奄美市	可燃ごみ	13,269
	不燃ごみ	618
	粗大ごみ	2,317
	下水道汚泥	625
	し尿汚泥	79
	場内汚泥	6
	総量	16,914
大和村	可燃ごみ	360
	不燃ごみ	23
	粗大ごみ	58
	し尿汚泥	39
	総量	480
龍郷町	可燃ごみ	1,690
	不燃ごみ	116
	粗大ごみ	177
	総量	1,983
宇検村	可燃ごみ	648
	不燃ごみ	35
	粗大ごみ	58
	総量	741
瀬戸内町	可燃ごみ	2,767
	粗大ごみ	168
	し尿汚泥	49
	総量	2,984

23,102

11-(2)-3. 容器包装廃棄物の搬入量予想

単位 トン

市町村別	銘柄別	令和5年度予想量
奄美市	ペットボトル	65
	無色びん	52
	茶びん	44
	その他の色のびん	32
	総量	193
大和村	ペットボトル	2
	無色びん	2
	茶びん	2
	その他の色のびん	2
	総量	8
龍郷町	ペットボトル	11
	無色びん	6
	茶びん	11
	その他の色のびん	6
	総量	34
宇検村	ペットボトル	2
	無色びん	4
	茶びん	3
	その他の色のびん	1
	総量	10

245.30

11-(2)-4. 合計

単位 トン

市町村別	令和5年度予想量
奄美市	17,107
大和村	488
龍郷町	2,017
宇検村	751
瀬戸内町	2,984
総合計	23,347

11-(2)-5. し尿及び浄化槽汚泥

単位 キロリットル

市町村別	令和5年度予想量
奄美市	8,777
龍郷町	6,679
総合計	15,456

12. 令和5年度施設運転計画

(1) 名瀬クリーンセンター焼却施設

イ. 焼却処理

単位 トン

可燃ごみ	汚泥	不燃・粗大施設からの戻り	焼却処理量
22,040	755	1,955	24,750

ロ. 残渣

単位 トン

焼却鉄	焼却不燃物	固化灰	排出量
67	748	1,697	2,512

0.27%

3.02%

6.86%

ハ. 検査

ゴミ質 年4回
熱灼減量 年4回

排出ガス年6回

クレーン自主点検2年毎

ダイオキシン(排ガス中:年1回, 作業環境中:年2回)

(2) 名瀬クリーンセンター不燃・粗大施設

イ. 破碎処理

単位 トン

不燃ごみ	粗大ごみ	破碎処理量
790	2,673	3,463

ロ. 排出物

単位 トン

アルミ(資源化)	鉄(資源化)	ダンボール・古紙	破碎不燃物(埋立)	処理困難物(業者渡し)	可燃施設への戻し	合計
143	353	186	683	143	1,955	3,463

(3) 名瀬クリーンセンター最終処分場

イ. 埋立計画

	焼却鉄	焼却不燃物	固化灰	破碎不燃物	覆土(平均)	その他	合計
埋立量(t)	67	748	1,697	670	1,345	0	4,527
比重(t/m ³)	1.6	1.1	1.4	1.6	1.2	1.2	
埋立容量(m ³)	42	680	1,212	419	1,121	0	3,474

ロ. 地下水の検査

施設敷地内(簡易) 月4回
施設周辺地域(精密)年4回

放流水検査42項目年1回 5項目毎月
処分場上下流域27項目年1回 2項目毎月

ハ. 埋め立て残余年数

容量(m ³)	R4年度末累計(見込)埋め立て量	今年度埋め立て計画量	今年度累計埋め立て量	残容量	耐用年数	進捗率
146,000	97,306	3,474	100,780	45,220	12	69%

経年 26

年間平均埋めて量 3,743

(4) 名瀬クリーンセンター浸出水処理施設

イ. 処理計画

単位 m³

浸出水流入量	施設内排出汚水	処理量
34,894	0	33,215

ロ. 冷却水へ利用

単位 m³

処理水	河川水汲み上げ	冷却水量
33,215	11,722	44,937

ハ. 水質検査

(簡易) 月4回 (精密) 年1回

(5) 定期補修

年 2回

(6) 奄美市ストックヤード(選別保管施設)

銘柄	資源化量
ペットボトル[t]	80
無色びん[t]	64
茶びん[t]	60
その他のびん[t]	41
資源ごみ搬入合計[t]	245

(7) 有良汚泥再生処理センター

汚泥搬入量(kL)	堆肥再生量(t)
15,456	75